

令和3年度 川西市立川西北幼稚園評価

川西市立川西北幼稚園

1 教育目標

教育目標「心身ともにたくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることのできる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

- 実施時期 令和4年2月7日～2月10日
- 対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 全く思わない 各問にAからDより1つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数39 回収数34 保護者回収率87.2%

	項目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	32	1	1	0	7	1	0	0	・今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大し、昨年度の経験を活かしながら、教育・保育内容を考え、取り組むことができた。コロナ禍において、その都度、最善のやり方や内容を職員間で話し合い、共通理解をしながら、取り組んできた。 *項目⑤⑥についてはここ数年、他と比較すると評価が低めである。保護者と職員の捉え方や感じ方にずれが生じているのではないかと考える。子どもの育ちを実感してもらい啓発方法や、幼稚園での子どもの姿や、職員の思いを知ってもらえる方法を考え、取り組んでいかなければなら
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	30	3	1	0	5	3	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている。	29	4	1	0	8	0	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	28	6	0	0	7	1	0	0	
	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	23	10	1	0	8	0	0	0	

	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	25	7	2	0	6	2	0	0	<p>ないと感じる。</p> <p>*昨年度はアンケートの回答率が低かったこともあり、今回はミマモルメのアンケート機能を活用し、スマートフォンなどから回答してもらった。手軽にできたことがよかったのか、回答率もあがり、集計もしやすかった。今後もICTを活用していきたい。</p>
	⑦わが子は、夢中になって遊び込むことができる	27	6	1	0	6	2	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑧幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	27	5	2	0	5	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校内仮設でいることで、行事に参加させてもらったり、職員（校長、教頭、ALT、担任、調理員）と関わることができたり、月3回、給食を喫食させてもらったりすることができた。コロナ禍においても、いろいろな人と自然な関わりができた貴重な経験であった。 ・こども園への移行もあり、川西北保育所と交流する計画を立て、幼稚園に来てもらったり、保育所に遊びに行かせてもらったりし、交流を深めることができた。 ・コロナ禍で幼稚園の活動を見てもらう機会が減少していたこともあり、ホームページを毎日更新し、子どもの姿や幼稚園について、広く周知するようにした。 ・ドキュメンテーション（写真を活用し視覚的に育ちを伝えるもの）を掲示したり、クラスだよりとして配布したりすることで、学びについて啓発するようにした。
	⑨幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	29	3	1	1	7	1	0	0	
	⑩保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	25	6	2	1	6	2	0	0	
	⑪幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	29	4	1	0	8	0	0	0	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	34	0	0	0	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と一緒に栽培物を育て、収穫する楽しさや喜びを経験することができた。 ・栽培物は子どもがグループに分かれて育てたいものを考えたり、生長記録をかいたりするなど、子ども達が自ら考え、取り組めるような内容を取り入れるようにした。 ・小学校と合同の避難訓練に参加し、いろいろな場面を想定できるような取り組みができた。 ・小学校内仮設での過ごし方にも慣れ、遊びの動線や内容、場所など、いろいろな場面で臨機応変に動くことができた。
	⑬幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	26	5	3	0	8	0	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	34	0	0	0	8	0	0	0	
	⑮幼稚園は保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	31	2	0	1	8	0	0	0	

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 令和4年3月8日
 ○評価委員会参加者 学校評議員 3名
 川西北幼稚園 園長

○内容
 ・学校評価アンケートについて
 ・今後の課題と方策について

	項目	評価委員会				・評価 *今後の方策
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	3	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いは様々である。マイナスの回答をする保護者がどのように感じているかを分析し、対応していく必要があるのではないか。 ・行事の縮小や変更など、市教委の判断もあり、致し方ないこともある。そのことを事前に、丁寧に説明することが必要である。幼稚園として説明責任があることを忘れずに、取り組むことが大切である。
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	2	1	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	2	1	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	2	1	0	0	
	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	2	1	0	0	
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	2	1	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦わが子は、夢中になって遊び込むことができている	2	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方を変えてでも、できる限り実施することで、保護者の理解も深まるのではないか。 ・幼稚園は安心できる場で、信頼関係が大切である。一定の理解が得られるように伝えることが大切である。 ・小学校内仮設での運営や、小学校の施設（遊具の大きさ、園庭、遊び場所等）に不安を感じている保護者がいるのではないか。
	⑧幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	3	0	0	0	
	⑨幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	3	0	0	0	
	⑩保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	2	1	0	0	
	⑪幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	2	1	0	0	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	3	0	0	0	<p>こども園移行について</p> <ul style="list-style-type: none"> *1年目がポイントになってくる。スムーズな運営ができるように心掛ける。 *幼稚園と保育所のよいところを活かし、スタッフの理解を得ながら進めていけるように。 *子どもの学びや育ちが保障されるように。 *職員の健康管理、職員が元気で毎日出勤できるように。
	⑬幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	2	1	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	3	0	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	2	1	0	0	

○学校園関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○保護者対象の評価アンケートの結果を公表し、前年度の課題を受けて今年度に重点的に取り組んできた教育活動を説明した。来年度に向けた課題や方策についてご示唆いただくことができた。